

山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会

第4回動植物の保全に関する専門部会

【動物】

資料-3 鹿野川ダム現地調査結果の概要

平成21年3月16日

四国地方整備局山鳥坂ダム工事事務所

第4回動植物の保全に関する専門部会資料3 鹿野川ダム現地調査結果の概要

目次

1. 調査目的	1
2. 調査対象種	1
3. 調査概要	1
3.1 調査項目	1
3.2 調査範囲及び調査地点	1
3.3 調査実施日	1
4. 調査手法	3
4.1 昆虫類の重要な種(メクラチビゴミムシ類)調査	3
4.2 昆虫類の重要な種(オモゴミズギワカメムシ)調査	3
5. 調査結果	4
5.1 昆虫類の重要な種(メクラチビゴミムシ類)調査	4
5.2 昆虫類の重要な種(オモゴミズギワカメムシ)調査	4
6. 今後の調査予定	4

1. 調査目的

鹿野川ダム改造事業（以下、本事業という）における環境影響評価を実施するため、洪水吐き新設による影響を中心に環境影響を受けるおそれがある動物の重要な種について、生息状況を把握することを目的とした。

2. 調査対象種

鹿野川ダム改造事業における動物の重要な種の現地調査対象種（猛禽類を除く）は、表 2-1 に示す 2 種である。

本事業による環境影響調査については、山鳥坂ダムにおける環境影響評価のデータを最大限活用し、予測評価を行うこととしている。したがって、対象事業実施区域周辺における情報が不足していると考えられる種について調査を行うこととした。

昆虫類の重要な種のうち、メクラチビゴミムシ類については、地中に生息し、専門家より、洪水吐きトンネルにより影響を受けると指摘されており、重要な種を含む可能性があることから、調査対象とした。また、オモゴミズギワカメムシについては、陸上昆虫類であるが主に河川の岩上に生息し、鹿野川ダム直下流から河辺川の合流点までの現地調査が実施されていないため、情報が不足していると考えられる。

表 2-1 鹿野川ダムにおける調査対象種

分類群		科名	種名	環境省 RL	愛媛県 RDB
1	動物 昆虫類	ミズギワカメムシ科	オモゴミズギワカメムシ	準絶	準絶
2		オサムシ科	メクラチビゴミムシ類		

1. 選定理由

環境省 RL：「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物 I 及び植物 II のレッドリストの見直しについて」（環境省 平成 19 年 8 月）

準絶：準絶滅危惧（存続基盤が脆弱な種）

愛媛県 RDB：愛媛県レッドデータブック 愛媛県の絶滅のおそれのある野生生物（愛媛県 平成 15 年 3 月）

準絶：準絶滅危惧（存続基盤が脆弱な種）

2.：メクラチビゴミムシ類については、重要な種を含む可能性があるため、調査対象種とした。

3. 調査概要

3.1 調査項目

3.1.1 昆虫類の重要な種（メクラチビゴミムシ類）調査

メクラチビゴミムシ類について、調査範囲において改変予定区域を中心に生息状況を記録した。確認された場合には、生息環境を記録した。

3.1.2 昆虫類の重要な種（オモゴミズギワカメムシ）調査

オモゴミズギワカメムシについて、調査範囲において改変予定区域を中心に生息状況を記録した。確認された場合には、生息環境を記録した。

3.2 調査範囲及び調査地点

調査範囲は表 3-1 に示すとおり、原則として鹿野川ダム事業実施区域及びその周辺の区域とした。

メクラチビゴミムシは地下浅層に生息するとされるため、調査範囲の中で、改変予定区域を含む谷沿いの湿気のある礫等が堆積した箇所 6 地点を調査地点として選定した。調査位置は図 3-1 に示す。

オモゴミズギワカメムシは、既往の調査において、調査地域のうち鹿野川ダム直下流から河辺川の合流点までの範囲の現地調査が実施されていないため、鹿野川ダム直下流から河辺川の合流点までの範囲を調査範囲とした。調査範囲は図 3-2 に示す。

表 3-1 調査範囲

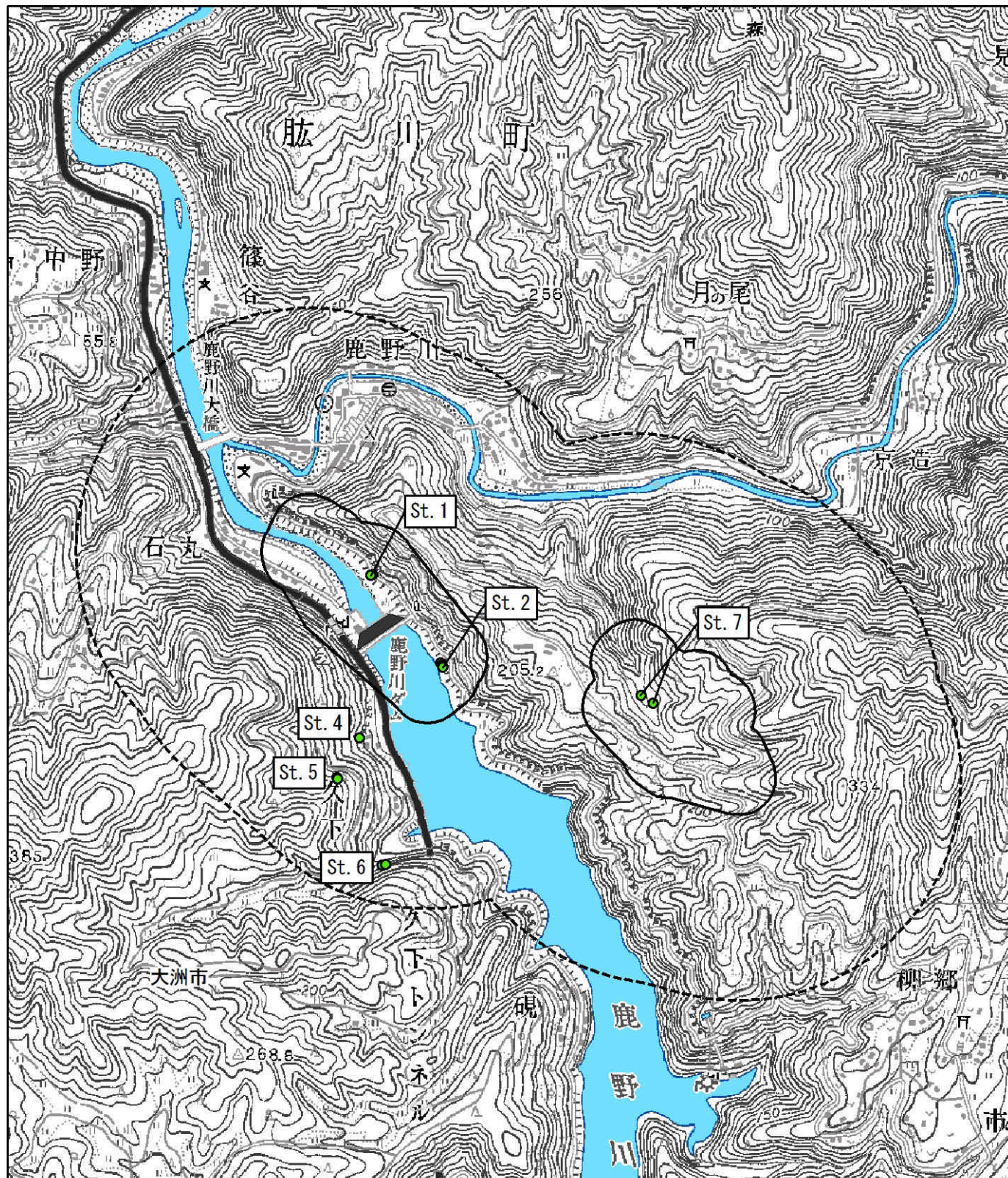
調査項目	調査範囲
昆虫類の重要な種（メクラチビゴミムシ類）調査	鹿野川ダム事業実施区域及びその周辺の区域
昆虫類の重要な種（オモゴミズギワカメムシ）調査	

3.3 調査実施日

調査実施日を表 3-2 に示す。

表 3-2 調査実施日

調査項目	調査実施日	
昆虫類の重要な種（メクラチビゴミムシ類）調査	トラップの設置	平成 20 年 11 月 19 日～20 日
	トラップの回収	平成 20 年 12 月 4 日～5 日
昆虫類の重要な種（オモゴミズギワカメムシ）調査	平成 20 年 8 月 26 日～27 日	



凡例

-  対象事業実施区域
-  調査地域
-  堤体
-  調査地点

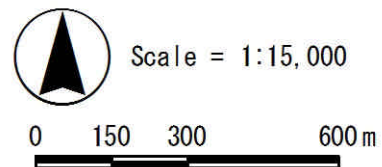
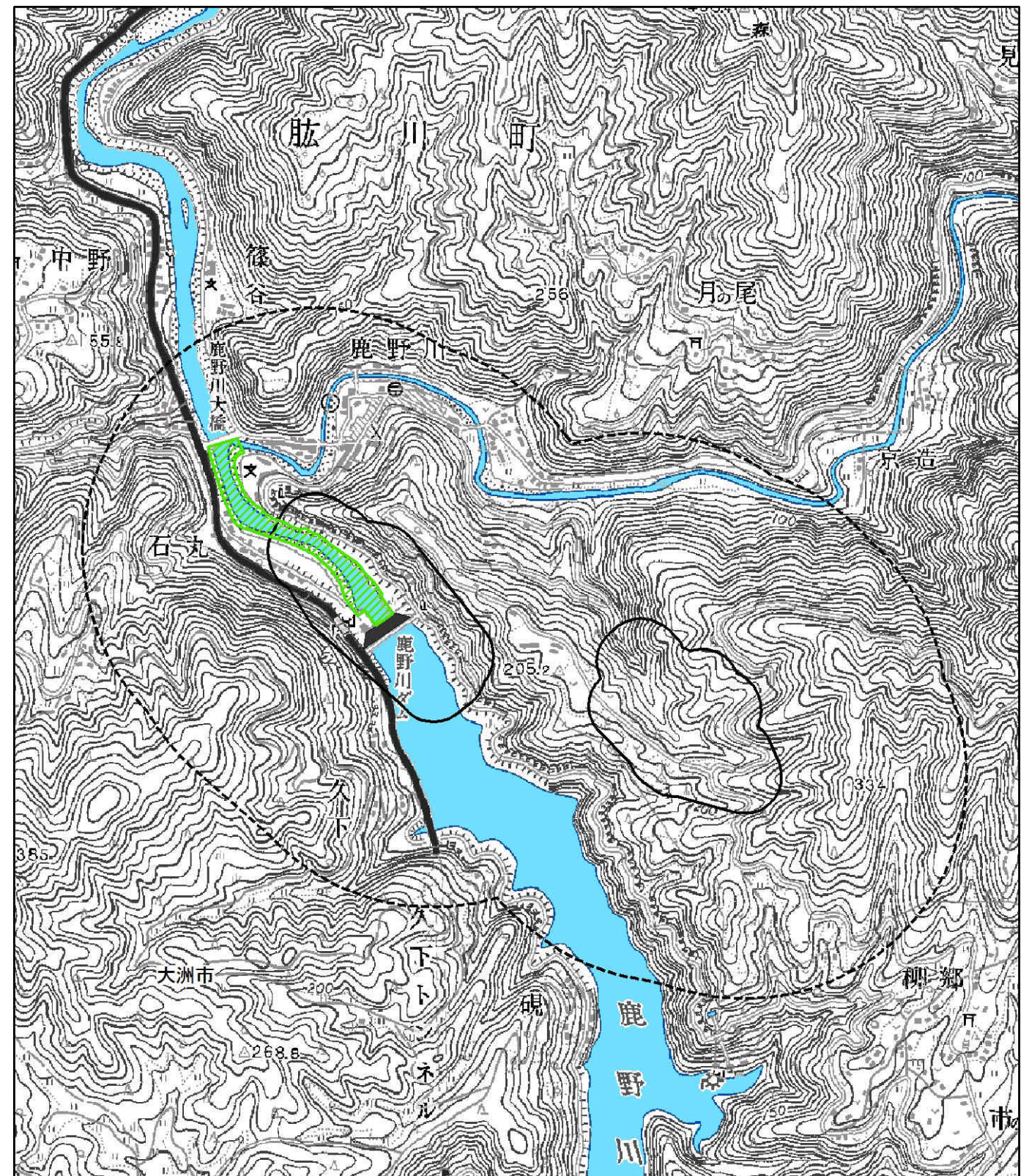


図3-1
メクラチビゴミムシ調査位置



凡例

-  対象事業実施区域
-  調査地域
-  堤体
-  調査範囲

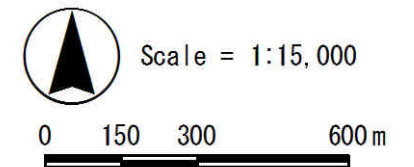


図3-2
オモゴズギワカメムシ調査範囲

4. 調査手法

4.1 昆虫類の重要な種(メクラチビゴミムシ類)調査

調査方法はトラップ調査及び任意採集とした。

トラップ調査は、土壌を地下浅層まで掘り下げた後、トラップを設置し、その後元どおりに土壌を埋め戻すこととした。トラップは、50ml程度の蓋つきのタッパーの中に、ベイトを設置するための餌壺を設置した長期設置型のものと、350ml程度のペットボトルの側面に2~3箇所の穴を開けた簡易型のものと2種類用いた。

トラップにはひもを繫いで、地表に出し、目印とした。

任意採取によりゴミムシ類が確認された場合には、確認位置、個体数、生息環境の状況等の記録を行った。



トラップ(長期保存型)



設置状況



トラップ(簡易型)



設置状況

写真 3-1 トラップの設置状況

4.2 昆虫類の重要な種(オモゴミズギワカメムシ)調査

オモゴミズギワカメムシの調査方法は任意踏査とし、水際の水面上に岩がある環境を中心に成虫の任意採集により確認した。オモゴミズギワカメムシが確認された場合には、確認位置、個体数、生息環境の状況等の記録を行った。



写真 3-2 調査実施状況

5. 調査結果

5.1 昆虫類の重要な種(メクラチビゴミムシ類)調査

調査の結果、トラップ調査により2地点でメクラチビゴミムシ類が確認された。確認地点を別添図面集資料3に示した。

メクラチビゴミムシ類の確認状況は表3-3に示すとおりである。

Yamautidius 属の1種及び Ishikawatrechus 属の1種については、確実な同定には至っていないが、メクラチビゴミムシ類はレッドデータブックに記載されている割合が大きく、愛媛県での未記録種である可能性が高いため、重要な種として扱うこととした。

表 3-3 メクラチビゴミムシ類の確認状況

No.	種名	確認状況
1	Yamautidius 属の1種	1地点において3個体が確認された。
2	Ishikawatrechus 属の1種	1地点において2個体が確認された。



Yamautidius 属の1種

Ishikawatrechus 属の1種

写真 3-3 確認されたメクラチビゴミムシ類

5.2 昆虫類の重要な種(オモゴミズギワカメムシ)調査

調査の結果、3地点において計16個体のオモゴミズギワカメムシが確認された。確認地点を別添図面集資料3に示した。確認個体数は表3-4に示すとおりである。。

表 3-4 オモゴミズギワカメムシの確認状況

No.	種名	確認状況
1	オモゴミズギワカメムシ	3地点16個体が確認された。
2	ミズギワカメムシ属の一種(幼生)	1地点1個体が確認された。



写真 3-4 確認されたオモゴミズギワカメムシ

6. 今後の調査予定

平成21年度においては、メクラチビゴミムシ類等について、春季の調査を実施する予定である。